

会 議 録	令和 3 年12月15日作成	令和 7 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府綾部警察署協議会（令和 3 年度第 2 回）	
開催日	令和 3 年12月10日（金曜日）	
時 間	午後 1 時30分から午後 3 時までの間（90分）	
場 所	京都府綾部警察署綾部駅前交番、講堂	
出席者	大槻会長、梅原副会長、塩見副会長、千賀委員、吉田委員、藤田委員 （欠席 上原委員） 計 6 人	
	署長、副署長、警務課長、地域課長、広聴係長、相談係長 計 6 人	
諮 問 事 項	地域警察活動について	
会 議 内 容	<p>1 開会 司会 副署長</p> <p>2 綾部駅前交番などの視察 綾部警察署綾部駅前交番へ赴き、公かい、コミュニティルーム、執務室を案内して勤務状況や設備、装備資機材について説明した。</p> <p>【委員】必ず 1 人は警察官が詰めているのか。</p> <p>【警察】基本はそうだが、事案によっては不在にする場合もある。 その場合はカウンターに警察電話を出しておくので、本署へ連絡をいただければ、本署の方で対応することになる。</p> <p>【委員】ここは 3 人で交替勤務されているのか。</p> <p>【警察】交番は24時間勤務なので、3つの係が交替勤務をしており、各係に 3 人ずつ警察官を配置している。</p> <p>【委員】他の交番も同じ構造か。</p> <p>【警察】立地面積などに拠るが、基本的に公かい、執務室、休憩室とあり、綾部駅前交番のようにコミュニティルームを備えている交番も増えている。</p> <p>【委員】湊垣交番はどのような勤務体制か。</p> <p>【警察】湊垣交番は、日中は交番相談員と警察官 1 人が勤務している。 夜間や事案対応の際は、綾部駅前交番員と連携して活動している。</p>	

会 議
内 容

【委員】綾部駅前交番の3人という人数はどうか。増員などの必要性はあるか。

【警察】綾部では事案の多くが駅前管内で発生しているので、増員要望を出している。

【委員】駐在所では、同じ警察官が交替なしで勤務されているのか。

【警察】駐在所は家族と一緒に暮らしながら勤務をするので、1人である。

【委員】勤務は昼間だけか。

【警察】昼間の場合が多いが、夜間に勤務することもある。

地域の実情に合わせた活動が求められるため、大変な勤務である。

【委員】救急車などはイタズラで呼ばれることがあるようだが、警察でもそのようなことはあるのか。

【警察】おびき出し、という場合が考えられる。

実際、過去には京都府警察でそうした事案が発生したことがあり、特に交番などでは注意を払っている。

【委員】なぜ警察官をおびき出すのか。

【警察】おびき出し事案の大半は拳銃奪取の目的が考えられる。

警察官は、そうした事態にも対処できるよう術科訓練等をしているので、別の機会にご覧になっていただきたいと思う。

視察を終えて綾部警察署へ移動、本署1階指令室において110番通報等の指令業務について説明した。

【委員】相談などであれば、110番通報よりも綾部警察署へ電話した方が良いのか。

【警察】署へ電話申告していただいても対応を行う。状況によっては刑事課などの専務員や相談係員に引き継ぐ場合もある。

【委員】事案対応は通報からのスピード感が重要だと思うが、本部を介さずに直接綾部警察署の指令室につながった方が良いのではないか。

【警察】警察本部とは、ほぼリアルタイムで情報共有ができています。

本部の110番指令センターには通報受理の専務員がおり、要領よく聴取できるほか、受理者の手書きしたメモなどをこちらで画像確認することも出来るので、タイムラグはほぼないと思われる。

綾部警察署署庭において、警ら用無線自動車を視察し、機能や積載物について説明し、終了後、講堂へ移動した。

3 会長挨拶

4 署長挨拶

5 協議

司会 会長

諮問事項説明

地域警察活動について～地域課長

【委員】 いつもいただいている広報紙のことで、前回の協議会のとき「字が小さくて見辛い」という話をさせていただいたが、さっそく読みやすくしていただき感謝している。

【警察】 たくさんの情報をお伝えしたい余り詰め込んでしまいがちなので、警察署内で協議して重要な情報をピックアップするよう努めている。

【委員】 早い対応に感謝している。

【委員】 山岳遭難について、弥仙山^{みせんざん}の関係を説明していただいたが、ほかに危険な山などはないのか。

登山用アプリは、登山中に圏外になったりしないのか。また、登る前に何か届出をした方が良いのか。

【警察】 弥仙山については、綾部観光協会の発行しているパンフレットで紹介されており、春先から遭難が相次いだため、警察として一番に取り組んだものである。

他の山も見ていきたいと考えている。

まず取り組んだのが、実際に遭難事案が発生した弥仙山で無線機が使えるかどうか、登山用アプリが有効かどうかで、これはいずれも確認ができた。

昨日は頭巾山^{ときんざん}へ登ったが、かなりコースが荒れていた。

綾部観光協会がパンフレットを作成したのは2年前ということで、当時とは状況が違っているところもあるので、順次、確認していきたいと思っている。

弥仙山は初心者が軽い気持ちで入っていく傾向があるので、早期対策が必要であり、道が分かりづらい箇所などはロープを張るなどコースを整備した箇所もある。

なお、登山道入口には登山届を入れるボックスが設置されており、登山者等を確認できるようになっている。

【委員】 警察が登山コースを直すのか。

【警察】 自治会へ連絡して、そうした対策の必要性などを伝えさせていただいたところ、そうした活動に次第に自治会や関係機関の方も参加されるようになってきている。

【委員】 スマートフォンは便利だが、それをきっかけとした手口もあると聞き、詐欺被害が怖いと思っている。

綾部では行政から危険情報等のメールが配信されるが、登録していない方も多く、先日、詐欺として紹介されていた手口で知人が騙されそうになった。私は綾部市から届いたLINEにより手口を知り、その知人に忠告することができたが、知る機会のない人も多いように感

会 議
内 容

じた。このような危険情報が広く伝われば良いと思う。

【警察】皆が登録してくだされれば良いが、自主的に入っていただく必要があるので、その都度、広報させていただいているが、まだまだ課題があると感じている。

スマートフォンの扱いに不慣れな方には、まず登録方法から教示する必要があるので、広報にも工夫が必要だと思われる。

先日、LINEアカウントの乗っ取り事案があり、夜間であったが警察から綾部市へ至急でメール配信を依頼したことがあった。

ただ、そのような情報も登録されていない方には伝えようがない。

警察が配布している広報紙などもあるが、メール等ではタイムリーな情報提供が可能なので、委員の方からも機会があれば周りの方へお知らせしていただければ有難い。

【委員】高齢者がメール配信登録することは難しい。

【警察】警察としても、よい方法がないか検討してみたいと思う。

【委員】危険情報を知っているとしないでは、大きく違うと思う。

紙媒体はゆっくり何度でも見直せ、保存できるという利点があるので、それぞれが重要であると思う。

【委員】綾部市が主体となって、公民館などでスマートフォンの体験教室を何度かさされていたので、少しずつ広まっているとは思いますが、それでも全体的な割合ではまだ十分とは言えないと思う

【委員】交番では3交替勤務をされていると伺ったが、係員間での情報共有はどのようにされているのか。

【警察】基本的には引継ぎということになるが、発生事案などは署全体として情報共有するようにしている。

特に継続対応中の案件などは、対応する警察官が、これまで扱った情報を把握していないことがないようにしている。

またDVやストーカーといった人身危機事案については特に綿密な引継ぎ、情報共有を徹底している。

【委員】特殊詐欺被害に関して、綾部市内の特徴はあるのか。

【警察】綾部市では、高齢者を対象としたオレオレ詐欺や還付金詐欺といった被害が発生していないことから、こうした詐欺の実態を知っているのかと思う。

また、金融機関と連携を図り、水際で被害者を説得し、詐欺被害を未然防止していただいていることもある。

当署において、今年1件発生した被害は架空請求詐欺で、パソコンの画面が動かなくなるなどして修理費用名目にお金を請求されたという被害である。

会議
内容

この被害者は20代の方で、多発している高齢者を対象とした特殊詐欺については発生がない。

架空請求に関する相談等は多数把握しているが、それぞれ適切に対応している。

また固定電話対策もしっかり出来ているので、意識付けになっている部分もあると思われる。

【委員】これだけ情報提供があっても、被害はなくなるものか。

【警察】府内全体としては、高齢者の方が多く被害に遭っている。

また警察などからの広報を通じて、手口を知っている方でも被害に遭っているので、それだけ犯罪集団の手口が巧妙化していると思われる。

【委員】職務質問について、若い警察官への技術継承はどのようにしているのか。

【警察】技能指導員という者がおり、職務質問についてもその指導員等が主になって教養していくが、基本は同一勤務をする中で経験を積ませることが多い。

【委員】座学などではなく、現場で学ぶということか。

【警察】実際にパトカーへ同乗し、教養に併せて指導員の姿を見せる、経験を通じて学ばせるというのが一番効果的と思われる。

また、若手警察官に対してはロールプレイング形式で練習することもある。

【警察】近年は警察学校でも実践に則した想定訓練、ロールプレイング教養を実施するなど、より効果的な教養内容としている。

【委員】その時々に応じた対応が必要となり、大変と思う。

【警察】想定訓練に加え、拝命2年以内の若手警察官には警察本部主体の研修、刑事課や生活安全課等の専務員による指導教養などがあり、警察組織全体で若手警察官の育成に取り組んでる。

【委員】エコバッグが主流となって気を遣うことが増えたように思う。買い忘れをしたときなど、万引きだと誤解されたくないので購入した商品が入ったエコバッグを店内に持ち込むことに抵抗を感じている。

【警察】万引きに関しては、防止という観点から店舗側へ防犯アドバイザーという専門家への依頼を提案するなどしている。出入口の位置関係や陳列などに関する助言により被害を軽減できればと期待している。

【委員】万引きが増えているのはなぜか。

【警察】件数が増えている原因には、検挙が多いことがあげられる。

確かに昨年より発生件数が増えているが、大半は検挙によるものである。

会議 内容	<p>【委員】交番連絡協議会というものを知ったが、これは交番単位の警察署協議会のようなものという理解で良いのか。</p> <p>【警察】住民の意見を伺うという点では、概ねそのような理解で良いと思われる。</p> <p>コロナ禍のため、集会形式でなく委員方居宅を戸別訪問して意見を聞くなどしていたが、地域における困り事や要望などをそういった機会に把握し、警察として対応を検討している。</p> <p>7 事務連絡 司会 副署長 次回の開催日については、日程調整の上、連絡させていただく。</p> <p>8 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
----------	---

第2回 京都府綾部警察署協議会の開催状況

